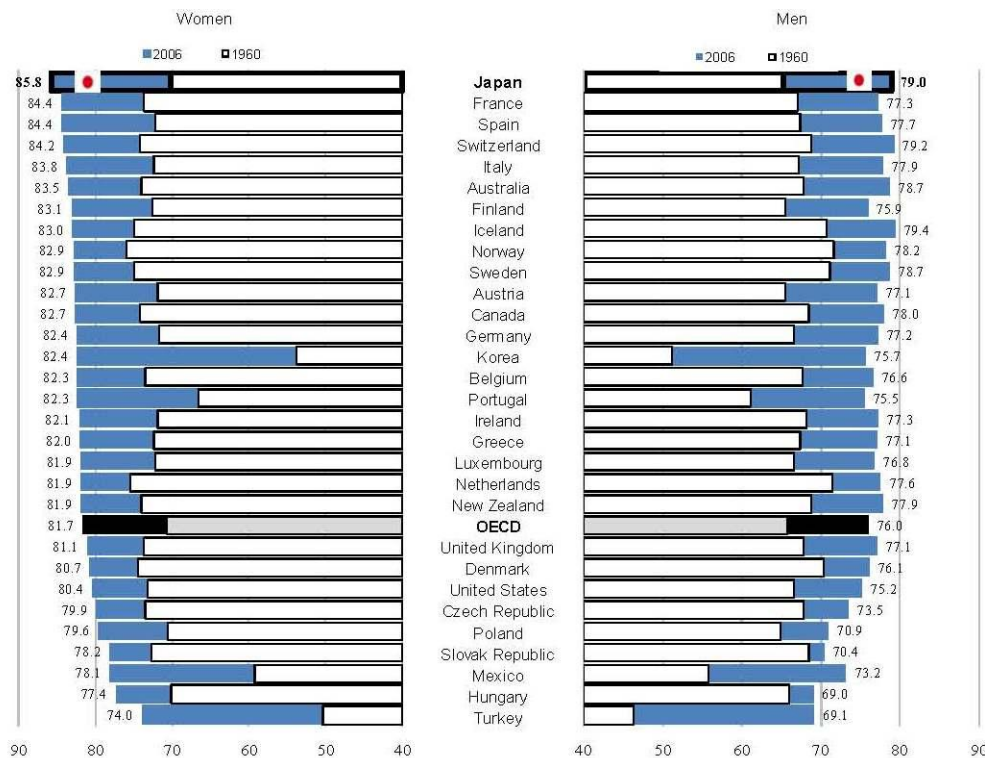


OECD図表でみる社会2009 - OECD社会指標

日本に関する調査結果

寿命: 日本人の寿命は男女ともにOECD諸国中最も長い。しかし、自分の健康状態を良好であると考えている日本人は少ない。日本の自己申告による健康状態は、OECD諸国中スロバキアに次いで低い。 [\[PDF\]](#) [\[XLS\]](#) [\[HTML\]](#)



レジャー: 日本人がレジャーに費やす時間は、OECD諸国中メキシコに次いで短い。日本人は1日の平均21%をレジャーにあてている。 [\[PDF\]](#) [\[XLS\]](#) [\[HTML\]](#)

睡眠: 日本人の睡眠時間は、18のOECD諸国中韓国に次いで短く、一日約470分である。 [\[PDF\]](#) [\[XLS\]](#) [\[HTML\]](#)

犯罪: 日本の犯罪率は低い。車両関係の犯罪、窃盗、直接的接触を伴う犯罪に関する国際比較可能なデータによると、日本の犯罪率はスペインに次いで低い。日本人の10%が過去12ヶ月間にこのような犯罪に遭遇しているが、OECD平均では16%である。 [\[PDF\]](#) [\[XLS\]](#) [\[HTML\]](#)

乳児死亡率: 日本の新生児は低体重の割合が比較的高いが、生存率が高い。日本の低出生体重児の割合はOECD諸国中2番目に高いが、乳児死亡率は最も低い。 [\[PDF\]](#) [\[XLS\]](#) [\[HTML\]](#)

肥満: 日本人の体格は健全な状態である。日本の肥満率は、OECD諸国中韓国に次いで低い。 [\[PDF\]](#) [\[XLS\]](#) [\[HTML\]](#)